

日新

苟日新 まこと ひ あら 苟に日に新たに
 日日新 ひ び あら 日々に新たに
 又日新 また ひ あら 又日に新たなり
 出典 「大学」

日新地区だより 51号



「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行: まちの未来づくり日新 広報部会
 福井市文京5丁目1-8 日新公民館
 発行日: 令和元年(2019年)9月20日

今こそ考えよう高齢者の安全を!

上里宿舎第一自治会長 秋山 仁美

7月1日は「国民安全の日」でした。一人一人が日常生活のあらゆる面において安全確保に留意し、安全を脅かす災害の防止をはかる日でした。

私は昨年7月にこちらの地区に引っ越してきましたが福井県民の安全について憂慮することがあります。まず、福井県内では高齢者の亡くなる事件や事故が目立つと感じました。凶暴な犯罪に巻き込まれるということではありません。身体が不自由な高齢者や認知症の高齢者が単独で外出して、用水路等に転落して亡くなるという出来事が何件もあります。福井県内には川や用水路が多いと感じています。介護する家庭の方々や周辺を見守る地域の方々のご苦労もお察ししますが、もう少し気を付けていれば救われる命だったのではないかと残念に思います。



自動車で移動をしていると、無理な横断をする人、無謀な運転をする自転車が目に付きます。停止車両の隙間を無理矢理横断する人や交差点を斜めに横断する自転車を見るとひやっとします。逆に、横断歩道を渡っていると、私のすぐ目の前を右左折する車が通過するという経験が何度もありました。私の他に横断者や周辺を歩いている人はいません。運転する人は、歩行者はいないものと慢心しているのでしょうか。痛ましい自動車事故が後を絶ちません。運転する人には細心の注意をしてもらいたいですし、歩行者や自転車の運転者には自分の命を軽く見ないでもらいたいと思います。

福井県は豊かな自然に囲まれて、大変住みやすいところだと実感しています。引き続き、高齢者の不慮の事故や交通事故の撲滅を目指したいと思います。

日新交番よりお知らせと注意

日新交番所長 高村 充明

日新交番より、この場をお借りして、日新地区の皆さんに注意していただきたいことを申し上げます。

一点目は、事件関係についてです。今年の8月末現在、オレオレ詐欺等の振り込め詐欺の福井県内での被害額は、約9,500万円を確認しています。全国的にみれば、1日あたり平均約1億円の被害に遭っているそうです。おかしいなと思ったら、相手にしない、そして、誰かに相談する癖をつけておくことが被害防止の手段だと思います。



また、当校区内は学生が多いこともあって自転車の盗難被害が多く発生しています。自転車の鍵は必ずかけるようにして下さい。

二点目は、交通事故についてです。今年に入ってから、9月4日現在、福井県内においては20名、福井署管内においては、3名の方が交通事故によって亡くなっています。最近の特徴としては、65歳以上の高齢者が事故当事者となる交通死亡事故が全体の約60%を占めるようになってきています。

事件・事故の被害に遭った場合、物的被害だけではなく、精神的な被害も受けますので被害に遭わないためにも自己防衛に努めていただきたいと思います。



第三回「日新ミソハギ花まつり」を終えて

「日新 ミソハギ花まつり」は底喰川の高水敷を赤紫の帯を流したように咲き誇る 8 月 4 日（日曜日）に開催されました。日新地区の多くの方々が参加され盛大に開催できました事、皆様と共に喜びたいと思います。また開催の準備から後片付けまで携わっていただいた実行委員の皆様には猛暑の中お疲れさまでした。心からお礼申し上げます。このお祭りは、地区の先輩の方々が二十数年の長きに渡り苦労しながら続けてきた環境美化活動がやっと実を結び、綺麗に管理され底喰川の高水敷に美しく咲き揃ったミソハギの花を地区の皆様にご鑑賞していただき、底喰川河畔の環境美化活動により関心を持っていただき、この活動への参加意識の高揚を図りたい。更に、日新地区の乾徳・文里・宮島・堀ノ宮の四ブロックが一つになり全区民で楽しむ『お祭り』を開催する事で、日新地区民の絆と一体感を高め、地区への愛着心の醸成を図るとの思いで三年前から始めた日新区民自らが創る意義深い『お祭り』なのです。これからもご協力のほどお願いいたします。



遅くなりましたが十月初旬にはこの祭りの反省会を計画していますのでご参加ください。来年には更に良い祭りとするために活発なご意見等お聞かせいただければありがたいです。



道端の壮大な花壇の風景

ある朝の散歩で福仁会病院道路脇の 40 メートルに渡って見事な花が咲いていることに気づきました。あまりにも見事な花壇なので、園芸業者が行っているのか?? なんと花壇などの手入れは病院の久保英機先生（内科医）が一人でされているとのこと。そこで、8 月 24 日に病院でお話を聞かせていただきました。久保先生は福井市清水町（三留）の出身で昔は自分の庭を中心に花を育てておられたそうです。2 年前からこの病院の花壇などの手入れを始めました。「誰かに習ったわけではなく自



分流（久保流）で綺麗だと思った花の組み合わせで花壇を造っています」といわれます。でも「一番の苦労はスギナなどの雑草の除去です。何度除草しても終わりがありません。でも咲いている花を見ると心が安らぎます。」と答えていただきました。私たちは綺麗な花だけを見て素敵だなあ～とっていますが、素敵な花を咲かせるには長い月日の花の手入れがあることを理解しなければいけないのだと感じました。

地域と共に学ぶ学校を目指して

日新小学校 校長 横山 美弥子



咲き誇っていた向日葵も重たげに種をつけ、夏から秋へと季節が移ろうとする 8 月 27 日に、夏休み明けの授業がスタートしました。全校児童 248 名は、毎日元気に様々な教育活動に取り組んでいます。そして、日新地区の皆様には、本校児童の健やかな成長に、多大なご支援ご協力をいただいております。2 年生「どきどきわくわく まちたんけん」では、地区の店舗や施設等への訪問、見学をさせていただきました。「そばの種まき体験」も支援いただきました。また、6 年生「伝統文化体験」では、皆様の温かいご指導のもと、茶の湯や生け花を経験できました。今後、3 年生「日新見て歩き」や 5 年生「地区の環境美化活動」など、各学年が地域と関わり、地域を学ぶ学習活動を行う予定です。7 月には、放送委員会と 6 年生が「日新の三つの宝」を、民放テレビでレポートしました。多くある宝の中から、児童のアンケートにより西藤公園、学校のかしの木、底喰川を紹介しました。「日新カルタ」も活用しました。これからも、子どもたちが調べた「日新地区のひみつや良さ」を地域の方々と共有し、「まちの未来づくり日新」に生かせられたらと考えています。今後も、保護者や地区の皆様には本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



実際の授業の様子



8月25日にまちの未来づくり日新・広報部会の主催の「三条葵の日本の美意識」トーク形式での講演会が行われました。来場者はおよそ70名。はじめに廣瀬館長の挨拶があり、三条さんのプロフィールを紹介の後、いよいよ日本髪に艶やかな着物姿での三条葵さんの登場でありました。いつもの舞台位置を約4メートルあまり前に出し3列分の舞台後方から見られる席と横からの席を設定して、日本髪独特の後ろからと横からの姿も見てもらうことを狙った会場設定でありました。また、来場者の中には着物姿の方も6・7人おられ和風の雰囲気を感じ上げていました。このような中で始まったトークショーは多くの方からの質疑があり葵さんも一つ一つ丁寧に答えていただき、あっという間の90分で幕を閉じました。来場された方は口々に「とても良かった」と感想を言われていました。今回の催し物は沢山の皆さまのご協力で無事に終了できました。本当に有難うございました。



祭りダワッショイ

ミソハギ花まつり

日新地区の今年の各夏祭りや盆踊りは、昨年同様記録的な暑さと台風で気をもみましたが、無事にできたことは大変良かったです。

乾徳祭り

文里地区民謡大会



街の文化人

今回は乾徳3丁目にお住いの畠瀬栄治さん(66歳)を紹介します。4年前に僧侶の資格を取られ、現在明厳寺(清水町)と了勝寺(福井市)の僧侶をされています。永年消防署に勤められた後、寺院の関係者ではないにもかかわらず、京都の西山別院(浄土真宗本願寺派)で厳しい得度の修行をされ僧侶になられました。得度の内容をお聞きしたところ、最初に俗世と自分を絶つために携帯電話などを預け、そして朝5時半に起床、朝の勤行、掃除、朝食、講義と勤行が昼食夕食を挟み延々と続き、消灯は午後11時。これが11日間続けられ、外出は一切禁止です。「現在は、今までとは違い教書など読む生活を送っています。」と言われていました。今は自分を見つめる毎日を送られています。



これはなあに？

6月の終わりに底喰川に掛っている乾徳橋のたもとで2つの卵を発見しました。右の卵はカモのもので、乾徳3丁目の山口さんの連絡で撮影することが出来ました。

何のたまご？



また下の写真はスッポンが卵を産んだ瞬間です。これは乾徳3丁目の増田さんが写真を提供



してくださいました。最初はスッポンか亀かの見分けが出来ませんでした。よ〜く見ると画面の上の方にスッポンの頭が見えます。

今年の事業も 8 月 4 日の「ミソハギ花まつり」を終えて後半戦に入りました。暑い中での多数の方々の参加協力を頂き感謝いたしております。引き続き清掃美化活動を中心に行っていきます。今後の予定についてお知らせします。

- 9/22 定例清掃
- 9/26 日新小学校での出前講座
- 9/29 京都方面の館外研修（東高瀬川美化活動の視察）
- 10/20 公民館祭りの準備と協賛
- 10/27 定例清掃
- 11/3 草刈り
- 11/3 藤島中学校のボランティア作業（ミソハギ枝回収、歩道の花壇の整備）
- 11/10 地区一斉清掃全体の美化活動
- 11/24 定例清掃（年末に向けての最終活動）
- 3/7 三世代交流会
- 3/8 一斉清掃（川の中に入っただがかりな清掃）
- 3/22 定例清掃



以上です。多数の参加を期待しています。今後共よろしくお願いいたします。

今回は令和元年 7 月 10 日に開催された「まちの未来づくり日新」交通部会の内容を紹介します。

出席予定者は交通部会委員と協力サポーターの 39 名。そのうち 16 名（自治会長 4 名）の参加がありました。配布資料は部会長山口満さんの手書きによる特徴の在る字体の会議資料 4 頁と、バス会社から日新さんさんバス 2019 年 6 月総計として運行日ごとに停留所の降者人数が記載され、細かく分析したものであり、その裏面は日新さんさんバス乗車実績の 4 年分を、月ごとの乗車人員を棒グラフで示し、一目で比較できるものであります。話し合い事項は 6 月分「さんさんバス」の乗車実績と今後の展開について山口部長が約 1 時間にわたりとうとうと説明されました。



A：実績はグループ毎にさんさん会の温泉 4 回で 193 名、食事会 2 回で 62 名、映画会 13 日 23 名、20 日 35 名、サポーターの食事会と乗車で 45 名、スポット 83 名、一般 345 名、合計 630 名（1 日 30 名）。基準割当に対し 124.7%は昨年 8 月の事業内容改正後では最高の乗車成果になる。特に一般客が計画値 300 名を大幅に上回り、今後に明るい要素かと思われる。

B：グループ毎の概要説明では、さんさん会、映画会とも参加者は喜んでおり、まとめ役、世話役のおかげに感謝の弁。スポット参加は花園幼稚園児の体験学習で 4 日間に分けて 5 人のサポーターはご苦労さんでした。一般客が 1 日当たりの目標値 15 名に対し 16.3 名になり新規顧客もある。

C：7 月の各グループ別計画及び促進計画は、グループ毎に 630 名に対して 695 名、110.3%を実績予測している。さんさんバスを継続していきたいと、この 10 年間まちづくり交通部会長はじめ役員、世話役の皆さんが精力的に活動されてきました。その思いが山口満さんをして廻りの人々も巻き込んで行動されている。まさに、さんさんバスを愛してやまない方々です。